



(1) Captains of Industry

Captains of Industryという語は、19世紀イギリスの歴史家・思想家トーマス・カーライルが著した『Past and Present』(邦題『過去と現在』)の第4編にある。カーライルは当時のイギリスにおける拝金主義を批判し、Captains of Industryとは「混沌、困窮、諸悪に対して戦い、人類を導く真の勇者」であるとしている。

(2) ソーシャル・データサイエンス 学部/研究科 (大学院修士課程)

2023年4月、社会科学の視点からデータサイエンス領域の新たな教育研究分野を確立するため、日本初となる「ソーシャル・データサイエンス学部/研究科」を開設。「ビッグデータの時代」において、現代社会における新たな課題を解決できる人材を育成する。

- 学部 入学定員60名 収容定員240名
■研究科 修士課程入学定員21名 収容定員42名
※博士後期課程は2025年4月設置を構想中

(3) グローバル教育ポートフォリオ

一橋大学では多様なプログラムにより、意欲と能力のある学部生全員に対して、高い質を担保した海外留学、海外調査、語学研修等の機会を提供している。卒業要件としては、下記のグローバル教育ポートフォリオを定めている。

- a) 初年次英語スキル教育 (全学生必修科目)
b) 短期語学留学
c) 語学集中研修 (大学の一部費用負担により国内で提供)
d) 短期海外留学 (サマースクール)
e) 長期海外留学
f) 海外インターンシップ
g) ゼミを中心とした海外調査・インターゼミ等



グローバル化が進む世界で活躍するには、多様な価値観を持つ人々と接することが重要です。一橋大学では、海外の大学の学年暦に対応するため4学期制を導入し、国際流動性の向上を図るとともに、協定校に留

産学官連携を重視し 行政への政策提言も
一橋大学は社会の課題に的確に対応するため、産学官連携を重要な使命の一つに位置づけ、イノベーション創出を目指すとともに、連携を通じて研究教育活動の基盤向上を図っています。2016年に包括連携協定を締結した産学技術総合研究所との連携では「文理共創」を通じて共同研究や人材育成に取り組んでおり、特別講義などを通じて人材の相互交流が実現。帝国データバンクや三菱地所などとも産学連携による共同研究活動を展開しています。また、2021年にスタートした

多彩な留学プログラム 伝統のゼミと優れた就職実績

学する「一橋大学海外派遣留学制度」や、ハーバード大学など世界有数のトップ校へ留学する「グローバルリーダー育成海外留学制度」など、充実したプログラムを提供しています。これらのプログラムは学部生全員の卒業要件である「グローバル教育ポートフォリオ」に含まれ、高い教育機会を保証しています。

が広く持てることも大きな魅力です。学生に対しては、企業などで勤務経験のあるキャリアアドバイザーが1対1で相談に応じており、今後の学生のキャリアと一緒に考え、志望業界や企業の選び方、面接などの選考試験対策や複数内定獲得時の対応などについてきめ細かい支援を行っています。

充実した経済支援制度 入試では多彩な学生を選抜
一橋大学では学生の家計や留学を支援する奨学金制度が充実していますが、その多くが同窓会である如水会、卒業生や家族、団体からの寄附金が原資で、校友からの支援が手厚



少人数で行われるゼミナール

四大学連合(東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学)による「ポストコロナ社会コンソーシアム」では学際的、複合的な観点で議論し、新たな研究テーマを創発することを目指す異分野融合イベントを開催しています。国際情勢からAIやフェイクニュース、ウェルビーイングまで多彩なジャンルについて異分野の研究者の知識や発想、多様な視点で多角的な議論を行うことで、さらなる文理融合研究が生まれる土壌の醸成を目指します。国や自治体への政策提言としては、社会科学高等研究院地域・中小企業政策研究センター(HIAS SME)が、経済産業省中小企業庁との連携・協力協定に基づき、政府統計の白書等で分析している各種アンケート調査の回答データ等を用いて、共同研究を行っています。地域経済や地域振興を考慮しつつ、中小企業に関わるさまざまなマイクロデータを駆使して高度な実証研究を行い、成果を公開・発信するとともに、地域振興政策を含む中小企業政策の評価と設計に貢献することを使命としています。

「情報(データ)」と「デザイン」で連結できる新しいタイプのデザイン経営者を育成し、「イノベーション人材」を輩出することにあります。本プログラムは、コンピュータ・サイエンスとデザイン思考を融合したカリキュラムを構成する点に独自性があり、UX(User Experience)デザイン系科目、ビジネス・モデル・デザイン系科目、コンピュータ・サイエンス/プログラミング系科目を提供しています。さらに、数理・統計系科目、知的財産法やメディア学等の他学部の専門科目のほか、芸術系大学や民間企業と連携した講義等の提供、イノベーション・デザインで先進的な海外の大学への留学の機会の提供により、グローバルレベルで通用する人材育成を目指しています。

DDPは、2年生を対象とする30名程度の選抜制の特別プログラムであり、2年生から4年生までの3か年で構成されます。商学部以外の学生も受け入れる学部横断型な構造で、プログラム修了者にはサーティフィケートが発行されます。

DDPは、2年生を対象とする30名程度の選抜制の特別プログラムであり、2年生から4年生までの3か年で構成されます。商学部以外の学生も受け入れる学部横断型な構造で、プログラム修了者にはサーティフィケートが発行されます。



なかの さとし 中野 聡学長
1983年一橋大学法学部国際関係課程卒業。90年同大学大学院社会学研究科地域社会研究専攻博士後期課程単位修得退学。専門はアメリカ史、米比関係史。神戸大学助教授、一橋大学教授、社会学研究科長、副学長などを経て2020年より現職。

一橋大学の歴史は1875(明治8)年、後の初代文部大臣である森有礼が渋沢栄一らの協力のもと創設した、私設の商法講習所にまで遡ります。その後、150年近くに及ぶ歴史の中でCaptains of Industry(1)、すなわち国際的に通用する産業界のリーダーたり得る人材の育成に取り組んできました。

2019年には「我が国の人文社会科学分野において教育研究の卓越性を誇る大学」として、全国で7校目となる「指定国立大学法人」に指定。そして、ポストコロナ時代を迎え、グローバル化とデジタル化による変革が急速に進む中、2023年には「ソーシャル・データサイエンス学部/研究科(大学院修士課程)(2)」を設置するなど、社会科学のわが国屈指の総合大学として、今日もお先導的な大学改革に挑んでいます。

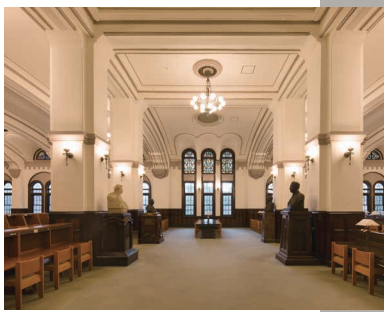
一橋大学

〒186-8601 東京都国立市中2-1 入試課 TEL 042-580-8150 https://juken.hit-u.ac.jp/

文理共創による新しい社会科学の創造など 激動する現代社会の課題解決に挑む 世界最高水準の教育研究拠点

文系・理系の枠組みを超え DX時代を牽引する新学部・研究科
一橋大学は社会科学系で唯一の指定国立大学法人として、日本の社会科学の改革を牽引する拠点の形成に向け文理共創をはじめとしたさまざまな取り組みを行っています。その一つが、今年4月に第1期生が入学したソーシャル・データサイエンス学部/研究科の設置です。

少教精鋭の実学教育など 先進的教育プログラムを展開
一橋大学は少教精鋭の実学教育により、グローバル社会の課題解決に資する人材を数多く輩出しています。その独自のプログラムの一つとして、ソーシャル・データサイエンス学部で展開している「ソーシャル・データサイエンス教育」があり、ビジネス領域、社会課題領域、データサイエンスの3領域について、体系的な知識を修得させるカリキュラムを提供しています。3年次必修のPBL演習(Project Based Learning)では、企業や政策機関等で実際に行われているデータ分析に関わり、社会科学の知識を用いて、分析結果からの含意の抽出と現実社会での活用方法について考察します。これにより、学生は社会科学とデータサイエンスの知識を融合する経験を得ることができま



附属図書館大閲覧室